



# 北小だより

2024年度 No.9

2024年12月23日発行

燕市立燕北小学校



学校ホームページ 2次元コード ↑

ホームページアドレス <https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510054>

## 今学期も子どもたちのがんばりを讃え、冬休みの充実を願う

校長 小川 泰文

校庭の白い山茶花の花が冷たい雨に濡れています。この季節、太陽に照らされる時間はごくわずかで、日中でも暗い景色になっています。そんな中で、子どもたちが制作した真新しい樹木の名札が新鮮です。山茶花の他にも、校門を通ったところからクロマツ、ヒマラヤスギ・・・と楽しませてくれます。

スタートした頃は残暑厳しく、熱中症対策が必要だった2学期が終わりを迎えます。約4ヶ月間、日々の学習に真摯に向き合い、一人一人の子どもに成果のある2学期でした。

先日、校門の前で登校する子どもたちを迎えていると、ある方が話し掛けてこられました。「今日は雨風が強いから、びしょびしょになる子どもを見ると自動車で送ってやろうかと思いました。これって過保護でしょうか。」

確かに雨に加えて風が強く、学校に着く頃にはズボンと靴はずぶ濡れという日でした。この方との会話から、家庭で教育について考えていただいていることに嬉しさや感謝の気持ちが湧き上がってきました。お礼の言葉とともに、天候によっては、登校班の各ご家庭で連絡を取り合い判断していただいて構わないことを伝えて会話は終わりました。今後も、お子さんにとって「適度な試練」なのか「過酷すぎる」のか判断していただきますようお願いいたします。

過保護や甘やかしは、子育てにとってプラスにならないことが多いといわれます。子どもがやるべきことを大人が先回りしてやることにより、子どもが「大変さ」を経験できなくなり、子どもの自立につながらないことを意味しています。

こうした甘やかしは多くの場合、大人都合で行われるといわれます。大人のペースで子どもの気持ちをコントロールしたいために、物やお金で埋め合わせていくこともあります。確かに子どもは喜ぶますが、長い目で見て、その子のためになっているかどうか。

一方で、甘えさせることは、子育てにおいて重要と言われます。そして、甘えさせることは、物やお金ではなく、自身の時間を子どもにあげることともいわれます。日々忙しい中、短時間で子どもの満足を得ようと物やお金を安易に与えることや、子どもがやることを待てずに大人がやってしまうことが甘やかしなら、じっくり子どもの話を聞いたり、遊んだりする時間を生み出すことが甘えさせることといえるでしょうか。

そう考えると、甘えさせることのほうが、当然ながら大変です。しかし、それをするのも、子どもが自立していくまでのわずかな時間。子育てを振り返ったときに、「あの時期、子どもと十分にかかわることができたから今がある」と思いたいものです。

さて、冬休みです。お子さんにとって生活の中心が学校から家庭・地域へと変わります。冬休みにしかできない貴重な経験をしたり、甘えさせてもらったりして、笑顔で登校してくる子どもたちを3学期の始業式で待ちたいと思います。

結びになりますが、今学期も、皆様方のご支援をいただき、予定していた教育活動を終えることができます。感謝申し上げますとともに、来る年が皆様にとって飛躍の年となるよう祈念しております。ありがとうございました。(文中の物やお金はクリスマスプレゼントやお年玉のことではありません。子どもたちも楽しみにしていますね。)

# 令和6年度 2学期 北っ子の活動 1年生



生活科の学習で「たのしいあき」をたくさん見つけました。バスに乗って弥彦公園へ遊びに行き、拾ってきた落ち葉やどんぐりなどを材料に制作活動をしました。葉っぱの形を組み合わせた素敵なアート作品やどんぐりゴマができあがり、みんなで一緒に遊んで大満足でした。

## 2年生

2学期は、町探検や秋の虫さがしなど、人や自然との触れ合いや体験を通してたくさんのことを学びました。

毎日、熱心に観察しながら、気付きや発見をメモにしていました。新聞にまとめて発表し合い、最後は仲良くなった虫たちとの別れを惜しんでいました。



## 3年生

「地域のお宝 大発見!」が総合的な学習の時間のテーマです。2学期は、学校周辺にあるお店や工場などの多くの施設を訪問しました。見学や体験、インタビューを通して、さらに詳しく調べました。

只今、「北小 お宝 MAP」を制作中です。完成した MAP は、リーフレットに仕上げ、保護者や地域の方や公共施設に配付したいと考えています。



## 4年生

「だれでも HAPPY プロジェクト」が始動。

愛宕の園に訪問し、高齢者と交流をしました。

事前の高齢者体験などから考えたこと、全員で準備してきたことを実践しました。歌や遊びなど心の交流を通して、お互いがHAPPYな気持ちでいっぱいになりました。校内では、工夫を凝らした出店で1~3年生を迎えて、たっぷり楽しんでもらいました。さまざまな活動でたくさんのHAPPYを創り出した4年生でした。



# 令和6年度 2学期 北っ子の活動

## 5年生



「made in Tsubame」に学ぼう」をテーマに探求活動を継続しています。2学期は、燕市の歴史や産業に詳しい講師の方と一っしょに「これからの燕市の課題」について考えました。

さまざまな工場の見学を通じて、燕の伝統産業である金属加工の素晴らしさや歴史に触れ、学びを深めました。



## 6年生

外国語の学習で日本に来て間もないALTのグレイス先生に、自分たちが紹介したい日本各地の「名所」を「特産品」について英語で伝えました。

グレイス先生の興味や関心に合わせて、伝えたい内容をインターネットなどで調べ、説明するための写真や絵を選んでスライドにまとめました。今まで学習した単語や表現を用いて、日本にさらに興味をもってもらえるように工夫してALTに伝えることができました。



文化祭・音楽鑑賞会で演奏してくださったアコーディオン教室の荒木先生によるアコーディオン体験会を2日間実施しました。4～6年生の希望者が参加、初めてアコーディオンに触れるも多く、慣れない手つきでしたが、最後は先生と一緒に「聖者の行進」を演奏し、みんなが笑顔になりました。



グラウンドの「北小ファイト」の文字が雪化粧をし、くっきりと、浮かび上がりました。いよいよこれから冬本番です。

玄関には門松がお供えされ、新年を迎える準備ができました。



## 80日間、充実した2学期になりました。ありがとうございました！

2学期は、様々な行事を実施することができました。校外学習や、交流活動が積極的に行えるようになり、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。仲間と一緒に関わり合いながら、楽しく活動することができ充実した2学期となりました。

今後、気温が下がり乾燥しやすい3学期を迎えるにあたって、感染対策を緩めないことが大切と考えます。行事の実施に関しては、感染症対策を行い、子どもたちの気持ちを考え、できることをやっていきます。保護者の皆様にも、ご不便、お手数をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

(\*5年生は移動教室を含めると82日間)



## 「燕北 夢語り 発表者 募集！！」

燕北小コミュニティ・スクール委員会主催のイベントです。

6年生児童と地域の方が集まり、「自分の夢」や「地域のこと」「これからの燕北小」について夢を語り合い、お互いに応援してもらいます。皆さんで「学校や子どもと地域のつながり」や「地域の方々が集う学校」についても、一緒に考えていきましょう。

『夢を語ってくださる方』（発表者）を募集しています。

保護者の方、地域の方、多くの皆様からのご参加をお待ちしています。

【日時】 2025年2月11日（火・祝）10時～12時

【会場】 燕北小学校 木の部屋

こちらのQRコードから  
お申込みください。



## ～北っ子の活躍～

### ★燕ジュニア検定

Aクラス つばけんマスタークラス〔満点者〕

6年生 2名



### ★第54回新大全国競書大会

準特選 1年生 1名

準特選 6年生 1名



### ★第35回新大全国硬筆大会

特選 2年生 1名

特選 3年生 1名

特選 4年生 1名

準特選 2年生 1名

準特選 5年生 1名



### ★第60回新潟県中越美術展

特選 3年生 1名

### ★第55回新潟県ジュニア美術展覧会

奨励賞 3年生 1名

## 心も体も温まる冬休みをお過ごしください

今年度の冬休みは、15日間です。家族で過ごす時間を大切にいただき、素敵な時間となるよう願っています。冬休み中に、事故や大きなけが、感染症への感染などの情報は、学校（時間外などの場合は教育委員会）に連絡をお願いします。



燕北小学校 0256-63-4051

学校緊急時電話番号※080-8750-2933

燕市教育委員会 080-8750-2925

※閉庁日など学校につながらない  
場合の緊急用

12月27日（金）～1月5日（日）